

令和元年度（2019年度）第2回北海道入札監視委員会 開催結果

日時 令和2年（2020年）2月19日（水）10:00～
場所 道庁7階 農政部第1中会議室

（委員会次第）

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

- (1) 令和元年度入札契約執行状況（令和元年9月末現在）
- (2) 談合情報対応状況について（非公開）

4 議事

- (1) 令和元年度（2019年度）北海道入札監視委員会現地調査結果について

5 審議

- (1) 抽出審議

6 閉 会

令和元年度（2019年度）第2回北海道入札監視委員会

出席者名簿

委員長	八 幡 雄 治
委 員	大久保 誠
委 員	岡 田 美弥子
委 員	岸 邦 宏
委 員	清 平 秀 幸

※委員は五十音順、敬称略

関係部局出席者

所 属	職	氏 名
農政部農村振興局事業調整課	課 長	鹿 野 訓 久
〃	主 幹	穴 戸 正 樹
〃	主 査	奈 良 充
水産林務部総務課	主 幹	山 崎 康 裕
〃	主 査	白 川 絵 麻
建設部建設政策局建設管理課	課 長	斎 藤 知 郷
〃	主 幹	天 野 正 利
〃	主 幹	多羽田 元 己
〃	主 査	工 藤 利 忠
〃	主 査	齋 藤 豊
〃	主 査	鈴 木 伸 一
建設部建築局計画管理課	課 長	細 谷 俊 人
〃	主 幹	早 坂 隆 志
〃	主 査	田 邊 竜 史
出納局財務指導課	主 幹	向 井 孝
〃	主 査	吉 平 江 里

事務局

所 属	職	氏 名
総務部	次長兼行政改革局長	船 橋 雅 史
総務部行政改革局行政改革課	課 長	田 辺 きよみ
〃	主 幹	白 幡 博 久
〃	主 査	松 本 宏 樹
〃	主 任	川 瀬 彬 子

令和元年度（2019年度）第2回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

（事務局：白幡主幹）

ただいまから、令和元年度第2回入札監視委員会を開催いたします。

本日は、議事録作成の都合上、ご発言の時には、マイクをお使いいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、総務部次長兼行政改革局長の船橋よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

（船橋次長兼行政改革局長）

行政改革局長の船橋です。

令和元年度、第2回入札監視委員会の開会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

八幡委員長並びに各委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、また、日頃から道行政に対しまして、ご理解、ご協力をいただいておりますことに改めてお礼を申し上げます。

本日の委員会は、令和元年度9月末現在の入札契約の執行状況、昨年11月に委員の皆様方に直接現地に赴いていただいた現地調査の結果及び談合情報対応などについて、ご報告させていただきますとともに、委員より抽出いただきました工事について、審議をいただく予定となっております。

北海道における入札及び契約の過程やその内容の透明性の確保のため、活発なご審議をお願いいたします。

道といたしましては、皆様の意見をもとに、公共工事入札契約の適正化にさらに努めて参りたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、率直なご意見を賜りますようお願いを申し上げ、開催にあたってのごあいさつとさせていただきます。

本日、よろしくお願いいたします。

3 報告事項

（1）「令和元年度入札契約執行状況（令和元年9月末）」について

（事務局：白幡主幹）

大変恐縮ですが、ここで次長は、他の公務のために退席させていただきます。

それでは、これからの議事の進行につきましては、八幡委員長にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

（八幡委員長）

それでは、次第3、報告事項1の令和元年度（2019年度）入札契約執行状況（令和元年9月末）についてに参りたいと思っておりますけれども、3（2）の談合情報対応状況については非公開とされておりますことから、3（1）が終わりましたら4（1）の議事に入りたいと思っております。

そのあとに、談合情報対応状況について報告いただくことにいたします。

それでは、1番目の令和元年度入札契約執行状況について、事務局から説明をお願いいたします。

（事務局：松本主査）

行政改革課松本です、よろしくお願いいたします。

報告に先立ちまして、配付資料の説明をさせていただきます。

次第に記載しておりますが、次第、資料1-1、資料1-2及び資料3につきましては、報道

機関及び関係部にも配布している資料です。

また、非公開で審議いただく抽出審議の資料につきましては、委員及び関係機関のみ配布させていただきます。

それ以外の資料につきましては、大冊または非開示のため、委員のみに配布しておりますのでよろしくお願いします。

それでは資料1-2の令和元年度入札契約執行状況に基づきましてご報告させていただきたいと思いますが、その前に、7月の第1回の入札監視委員会で岸委員より入札契約執行状況について質問のありました、一般競争入札と指名競争入札の落札率は一般的には一般競争入札の方が高いのか、あと落札率の割合を比較することの意味は何なのか、それと金額が大きい方がばらつきが出て、規模が小さい方が正しく積み上げられているのかの、この3点につきまして、第1回の時に説明が不足しておりましたので今回説明させていただきます。

まず最初に、落札率の割合を比較することの意味ですが、入札が適正に行われているか否かを確認するため様々な分析をすることは必要だと考えておりました、その分析の手法の一つとして、委員の方々の意見を参考にしながら、発注機関ごとに細かく分けて違いがあるかどうかですとか、指名競争と一般競争で違いがあるか、さらには一般競争入札の中でも総合評価とそれ以外では違いがあるかなど、入札方式別でも分析が必要ということでこのような集計をしているところであります。

この集計結果を委員の皆様に見ていただきまして、落札率が高いのは何故なのか、それは制度的なものに起因するのか、あるいは地域的なものからくるものなのかなど、いろいろ分析をさせていただくための資料として、入札監視委員会に報告させていただいているところであります。

一般競争入札と指名競争入札の落札率の比較と金額が大きい方がばらつきが出て規模が小さい方が正しく積み上げられているのかについては、資料を作成いたしましたので、資料1-1をご覧ください。

めくっていただきまして1ページですが、こちらが7月18日の第1回委員会で報告させていただいたものになります。

この資料の中の落札率が、一般競争入札の95.0%に対しまして、指名競争入札が93.3%だったことから、岸先生から質問があったところです。

めくっていただいて、2ページを見ていただきたいのですが、まず契約金額のばらつきということで、契約金額を7区分してみまして、それぞれの最高落札率と最低落札率を拾ってみました。

結果なのですが、一般競争入札、指名競争入札とも特に金額が大きい方が最高・最低のばらつきが大きいという結果には至っておりません、落札率は契約金額によってそれほど違いはありませんでした。

次に、工事の種別ごとに集計したものが3ページになります。

これを見ていただきますと、一般競争入札、指名競争入札とも塗装工事の落札率が極端に低いことがわかります。

道路に白線を引く塗装工事は、比較的発注金額が小さいことから指名競争入札で行うことが多く、そのほとんどが最低制限価格で応札されておりますことから、落札決定するためにくじ引きにより落札者を決定している状況にあります。

このことから、塗装が原因なのかということによって塗装を除いて集計してみますと、4ページになるのですが、塗装を除くと一般競争入札の方が落札率が低くなったところであります。

※委員会終了後、配付資料に誤りがあったことが判明し、下線部分については、発言誤り。

塗装を除いた場合、指名競争入札95.0%に対して一般競争入札95.1%と指名競争入札の落札率とほぼ同じとなる。

ただですね、この塗装工事の応札状況というのは、指名競争入札の方が落札率が低くなっている要因の一つではあるのですが、先ほど2ページで見ていただきましたとおり、一般競争入札、指名競争入札ともそれほど落札率に違いがありませんでしたので、現在、指名競争入札から一般競争入札にシフトしていったことに伴い、発注本数が指名競争入札の方が断然一般競争に比べて少ないものですから、1本でも低落札の案件がありますと落札率が大きく低下してしまうということが一番の要因なのかなと思います。

これから報告させていただきます今年度上半期の執行につきましても、工事につきましては、指名競争入札の方が落札率が低い状況となっております。

ちなみに、委託につきましては一般競争入札の方が落札率は低かったのですが、参考までに同じように集計してみましたので、5ページ以降になりますので、後ほどご覧ください。

岸委員からの質問に対するご説明は以上になりますが、今後とも、データの取り方等も含め、委員会の場でいろいろな角度から議論いただけるよう資料作りを工夫していきますので、ご意見いただければと思っております。

それでは引き続き、資料1-2の令和元年度入札契約執行状況に基づきまして、ご報告いたします。

まず1ページになりますが、資料のデータにつきましては、平成30年度の数値は1年間の年度実績、令和元年度の数値は令和元年9月末現在までの上半期のデータとなっております。

1の一般競争入札の実施状況ですが、令和元年度一般競争入札の実施率は、発注3部におきましては94.0%で昨年度と比べまして上半期までで7.4ポイントの上昇となっております。

その他部門も含めた全体の実施率でも、94.7%で昨年度と比べまして7ポイントの上昇となっております。

次に2の発注部門別の平均落札率の状況ですが、工事部門におきましては、令和元年度の発注3部の落札率は95.6%で昨年度と比べまして0.8ポイント上昇し、その他部門を含めた全体の落札率でも、2ページになりますけれども、95.2%で0.7ポイント上昇しているところであります。

次に、委託部門につきましても、発注3部の落札率は93.0%で昨年度と比べまして0.1ポイント上昇しておりますが、その他部門を含めた全体の落札率では92.9%と今のところ昨年度と変更のない状況となっております。

続きまして3ページの入札方式別の平均落札率の状況ですが、工事の一般競争入札全体の落札率は95.4%で昨年度と比べ0.8ポイントの上昇、総合評価と通常の一般競争入札ともに上昇しております。

指名競争入札全体では、落札率が92.8%と昨年度と比べ0.5ポイント低下しているところでございまして、今年度につきましても、上半期までですが一般競争入札の方が指名競争入札より落札率が高い状況が続いております。

4ページから7ページは参考資料となっております。

4ページにつきましては令和元年度9月末現在の発注3部における工事の部門別入札契約実績、5ページにつきましては各発注機関ごとの工事の入札契約実績、6ページにつきましては令和元年度9月末現在の発注3部における委託業務の部門別入札契約実績、7ページにつきましては同じく委託の入札契約実績となっております。

令和元年度9月末現在の入札契約執行状況の報告は以上となります。

(八幡委員長)

ありがとうございました。

先ほど一部説明があったのですが、一般競争入札の平均落札率より指名競争入札の方の平均落札率が低いということになっておりまして、これは先ほど説明があったように、塗装工事の落札率が低いということに起因したことでないでしょうか。

(事務局：松本主査)

今年度につきましても、一般競争・指名とも塗装の方が低い状況は昨年と同様ですが、ただ上期までですけれども、一般競争入札が今 3031 本に対して指名競争入札は 469 本なんですよ。

それに対しての落札率になりますので、どうしても指名競争の方が分母が小さくなるものから、何本か落札率が低い工事がありますと落札率が低い状況にはなっております。

ですので、塗装だけではないと思います。

(八幡委員長)

それから今年度の発注件数、9月末までの発注件数なんですけれども、これを見ると、全部で 1765 という数字になったのでしょうか。

30 年度の全体では、3500 件ぐらいになるというのでよかったですのでしょうか、4 ページの最後の方、合計の数字なのですか。

それで、今年度発注件数 9 月末で半分ぐらいであるということで、発注件数的には、通常この程度のものでしょうか。

(事務局：松本主査)

すいません、その前に先ほどの説明なんですけれども、ちょっと本数を間違えておりました、すいません。

上期までで、一般競争入札 1629 本に対して、指名の方が 104 本なので分母が 104 で小さいということですよ。

すいません間違えておりました、申し訳ありません、訂正いたします。

それで今年度上期までの発注状況なんですけれども、各部の方から状況についてご説明いただきたいと思うのですが、まず、建設部さんお願いしたいと思います。

(建設部：天野主幹)

建設部の天野と申します、着席したままで失礼をさせていただきます。

建設部に関しましては、昨年度の入札本数が 2322 に対して、今年度上半期は 935 となっております。

それで、まず昨年度も実際、昨年同期にどれぐらい発注されていたかということを確認しましたところ、昨年度については 2322 に対して 1000 ちょっとということで、昨年度も全体本数に比較しまして 5 割弱といった状況でございます。

それで、今年度の発注本数については、まだ具体的に集計・想定などがされてはいないのですが、平成 28 年に十勝を中心に台風でかなり大きな被害が出まして、その災害復旧工事が、ある程度山を越した、ピークを越したということで、本年度については、総トータルの発注本数については、昨年をやや下回るのではないかなと推測をしているところでございます。以上です。

(事務局：松本主査)

農政部さん、お願いできますか。

(農政部：鹿野課長)

農政部の鹿野といいます、よろしくお願いたします。

農政部の関係ですが、昨年度、平成 30 年度の上期は 397 件の発注となっております、今年度上期は 391 件と、ほとんど変わらない状況でございます。

昨年度、30 年度の下期は 196 件発注がありまして、上期下期合わせて 593 件ということになっております。

今後、今年度、国の補正予算がありまして、翌債、ゼロ国の発注を控えてありまして、その発注分を加味しますと、年間を通じて平成 30 年度と同程度の発注件数となる見込みとなっております。以上でございます。

(事務局：松本主査)

水産林務部さん、お願いします。

(水産林務部：山崎主幹)

水産林務部の山崎でございます、よろしくお願いいたします。

当部の所管する工事については、水産部門と林務部門に分かれております。

まず水産部門の工事につきましては、昨年が58件に対しまして、今年度、9月末時点で66件と、水産部門については大方の発注工事は終了しております。例年、多少増減はある中で、そんなに大きな変化はない状況なのかなというふうに考えております。

それと、林務の部門につきましては、昨年が332件に対して、今年9月末の時点で212件という状況でございます。

昨年、林務の関係は胆振東部地震の復旧工事等々もあって、昨年の工事は若干全体量としては多かったのかなというふうに考えておりますが、今年度の分につきましても12月末現在の数字を拾っていきますと、44件増加の256件ということになっております。

今後、2月・3月の繰越工事等々の発注もございますので、その辺も加味していきますと、例年とさほど大きな違いのない件数になろうかなということで予想しているところでございます。

以上です。

(事務局：松本主査)

ありがとうございました。

(八幡委員長)

あと1点ですけど、5ページ目の発注機関別入札契約実績の森林室の実績で、上川南部森林室だけが空欄になっておりますけれども、何か要因があったのでしょうか。

(事務局：松本主査)

水産林務部さん、いいですか。

(水産林務部：山崎主幹)

5ページ目の資料、上川南部森林室が空欄になっているということでございますが、今年度から森林室と振興局の林務課の方の役割分担の見直しを一部行っております。上川南部森林室については、合同庁舎内にどちらの事務所もある所在地となっております。

上川南部森林室については、そういった状況の中で、発注業務については林務課の方で行うということで行っております。上川南部森林室が所管する工事については、産業振興部の上川の中に含んでいるという状況になっております。

上川南部森林室の方でも、山の中の維持管理のための道路、維持工事については、引き続き発注は行っているのですが、それは少額な工事だったので、この集計には出てきておらず、そのため、ここが空欄になっているという実態でございます。以上です。

(八幡委員長)

ありがとうございました。

私からは以上ですが、他の委員の皆様から何かご質問等ございましたらお願いします。

よろしいですか。

4 議 事

(1) 令和元年度(2019年度)北海道入札監視委員会現地調査結果について

(八幡委員長)

それでは、次に参りたいと思いますが、議事の令和元年度北海道入札監視委員会現地調査結果についてでありますけれども、今回、各委員の皆様には、現地まで足を運んでいただきまして大変ありがとうございました。

それでは現地調査結果について、事務局から説明してください。

(事務局：松本主査)

それでは、令和元年度北海道入札監視委員会現地調査結果について、概要をご報告させていただきます、資料は3でございます。

本年度の現地調査は、上川総合振興局と釧路総合振興局において実施いたしました。

現地調査のテーマといたしまして、1. 設定している入札参加要件における入札参加者数などの現状について、2. 低落札率及び高落札率の要因について、3. 多様な入札制度についてを主として、各発注機関の担当課の方から聞き取りにより調査しております。

第1回目は11月14日に八幡委員長と岡田委員、岸委員に旭川市まで足を運んでいただきまして、上川総合振興局産業振興部調整課、林務課、南部森林室、旭川建設管理部発注の工事及び委託業務について調査を行いました。

主な論点といたしましては、制限付一般競争入札における地域要件設定の考え方や最低制限価格と同価落札に至った要因、制限付一般競争入札を事後審査型で実施した理由、入札を辞退する要因などについて確認いたしました。

第2回目は11月19日から20日にかけて、大久保委員と清平委員に釧路まで足を運んでいただきまして、釧路総合振興局産業振興部農村振興課、林務課、水産課、森林室、釧路建設管理部発注の工事及び委託業務について調査を行いました。

釧路での主な論点といたしましては、予定価格をオーバーして応札してくる要因、内訳書における値引きの考え方、余裕ある工期の設定の考え方や最低制限価格と同価落札に至った要因、指名競争入札における選考経緯等について確認いたしました。事務局からは以上です。

(八幡委員長)

それでは各委員から、ご感想、ご意見を一言いただきたいと思います。

まず、上川の現地調査について、岡田委員からお願いします。

(岡田委員)

現地調査でも質問させていただきましたが、一番気になったのは他の地域でも同じだと思うのですけれども、応札企業の数、事業者の数が少ないということです。

その際に、地域要件を広げるかどうかということが、すごく気になりました。

もちろん地元企業の皆様にお仕事をしていただくことが大事なことは解るのですが、きちんとした入札の制度として考えると、少し検討の余地はあるのかなという点が、もっとも記憶に残っている内容でした。

(八幡委員長)

岸委員、お願いします。

(岸委員)

時期的な問題もあると思うのですが、現場を見に行ったのがとても寒くて、あの時は、正直言うと委員の皆さん、もう行かなくてもいいんじゃないかっていう…。

だけど、予定されているということで行きましたけれども、もう少し時期を考えていただきたい。

見るのであれば、さすがに11月は寒くて、申し訳ないですが早く帰ろうよっていうような気持ちにしかならず少ししか見ていないし、あれを見て、例えば現場を見てもらいたいというのを主の目的とするのであれば、もう少し何か工夫の余地があるのかなと思いました。以上です。

(八幡委員長)

それでは釧路の現地調査でございますが、大久保委員からお願いします。

(大久保委員)

当日は、飛行機が機材繰りの関係で2時間遅れてということで、1日目は予定した案件の半分もできなかったんですね。

それでも、私にとって初めての体験でしたので、気がついたことを質問させていただいたのですが、入札書の内訳書を仔細に見てくと、値引きという項目を挙げている業者さんがいらっやって、中には全く値引きという項目が無くて、他の入札者とほぼ変わりのない金額を出してきている業者さんがいたんですね。

民間であれば、何とか契約を取りたいということで、値引きをしてということで、かなりの誘因として値引きを使うっていうのは解るんですが、公共工事の入札でも値引きがあるんだっていうのが非常に新鮮な驚きでした。

それを皆さんにお聞きしたら、いや、僕はどうしてこう聞かかっていうと、今、積算能力が非常に高いんだから、ちゃんと考えて自分のところの利益も考えていけば、おのずと入札額は出てくるんじゃないかという頭でいたんですね。

ですから値引きなんていうものが出てくることは無いんじゃないかと、逆に値引きがあるということは、単価をかなり高くして、それで、値引きで下げて、さあ私のところへというような、そんな発想があるのかなと思って、職員の皆さんに聞いたのですが、皆さん一律にそれが企業努力だと思っておりますと回答されて、正直そうなのかなと感じたというのが一番印象に残ってます。

それから私どもが行った時、風が強くて、かなり寒かったのはそうなんですが、私は岸先生と逆で、実際にああいう現場、1件は崖の補強工事ですね、もう1件は釧路湿原にかかる橋の一番端っこの補強なんですが、見させていただいて、ああ、なるほど、こんな大掛かりな工事をされているんだなあというのを、普段私ども全然仕事柄そういうのに関わることはないのですが、こういうところで一つ一つ長い期間かけて、こうやって、この公共財っていうね、インフラっていうのは作られていくんだなあという、そういうことを初めて見させていただいた良い機会でした。

ですから私に関して言えば、寒くても、暑くても構いませんというのが率直なところですよ。

(清平委員)

私も釧路の方に行かせていただいて、いろいろ工事を見させていただいたのですが、入札が1者というところが結構あったので、そうすると、やっぱり競争原理が働かないかなというのがありましたので、なんかもう少し、入札をするのであれば最低でも2者、3者いないとやる意味的なものがちょっと薄れるなというのは、見てて思いました。

それと、今回、週休2日に対応した工事工期の考え方というのがありまして、そういうところでも、だんだん働き方改革が出てるんだなっていうのがありまして、我々民間の方でも今、相当そういうところが気にさせられるといういろいろな法律の問題もあって、いろいろ考えさせられるところがあるのですけれども、こういう入札でも、働き方改革というか週休2日に対応した工期の考え方というのがどんどん取り入れられているというのは、非常に勉強になりました。

特に今回釧路では、現地で災害対策のための崖の工事を見させていただきましたけれども、この前も関西の方で崖崩れが突然起きた事故がありましたし、そういう面では、災害に対応することは、台風とか地震とかに対応しなければいけないので、それなりに短い工期で本当はやらなければいけないという中で、でも週休2日も取り入れなければいけないとか、そういうところの両者の考え方を勘案して今後取り入れていかなければいけないのだなあというのも、見てて非常に勉強になったというか参考になりました。以上です。

(八幡委員長)

ありがとうございました。

私も上川の現地調査に行つて参つた訳ですが、1点だけ申し上げます。

いろんな一般競争入札の事案を見させていただいたのですが、先ほど来、話があったように、1者しか応札者がいない、で、予定価格のあたりで落札するという工事もあったり、あるいは多

数の応札者が入札をいたしまして、最低制限価格に近い、同じ価格っていうか近い価格で落札するという工事もあり、この違いはなぜどこにあるのかっていうのをいろいろ考えながら現地調査をしたのでありますが、その原因はわかりません。

ただ、一つは、発注時期の問題があるのだと。

年度当初は、業者さんがたくさん工事が欲しいので、みんな参加するのだと。

ただ年度途中っていうか、9月とか12月とか知りませんが、そういう辺りになると、皆さんも他の工事で忙しいので、なかなか手を挙げないのだというような、発注時期の問題が一つあるのではないかなと思われました。

発注時期からして応札者が少ないと考えられるような工事については、あらかじめ、この一般競争入札の競争参加資格を広げてやるとか、いろんな工夫をすることが大切ではないかなと思いましたが。以上でございます。

現地調査の件は、皆さんからご意見いただいてこの程度で終わりたいと思いますが、よろしいですか。

それでは議事を終わらせていただきまして、次に談合情報対応状況に移りたいと思いますので、準備をお願いいたします。

(事務局：白幡主幹)

この後報告いたします談合情報対応状況につきましては、報告内容に特定の企業及び個人名が含まれますので、非公開とさせていただきます。

抽出審議につきましても、運営要領に基づいて非公開とさせていただきます。

趣旨をご理解いただきまして、委員並びに関係部局を除きまして、ご退席いただきますよう、よろしく申し上げます。

なお、本日の議事録につきましては、後日、ホームページの方でもアップさせていただきますので、よろしく申し上げます。

5 報告事項

(2) 談合情報対応状況について（非公開）

平成30年度第2回の入札監視委員会以降に寄せられた談合情報は、上川総合振興局調整課発注案件の「工事番号2626号 畑地帯（育成） ちえぶん地区 61工区」の1件。

この案件について、資料により、上川総合振興局公正調査委員会の開催状況を説明し、情報に対する対応結果を報告した。

委員からは、一連の対応について、特に意見は無かった。

なお、この案件についての対応をまとめた「談合情報対応経過記録書」は、上川総合振興局総務課HPで公開済み。

6 審議（非公開）

(1) 抽出審議

留萌振興局産業振興部農村振興課発注工事4件について審議を行い、入札参加資格の地域設定の考え方や高落札に至る要因などについて、委員より質問があり、考え方などの説明を行った。